

## 【エクアドル内政・外交：2011年11月】

### 1. 概要

- 11月 8日 アンデス共同体(CAN)特別首脳会合
- 10日 閣僚交替
- 24日 環境保護・国家歳入調整法発効
- 25日 エクアドル・ペルー外相会合

### 2. 内政

#### (1)閣僚交替

10日、コリア大統領は閣僚交替を発表した。アルバラド大統領府報道長官は、「毎年、大統領の判断に基づき大臣・長官を任命してきた。閣僚交替は市民革命のプロセスに新たな活力を入れるため、国民よりコリア大統領に与えられた権限である」と述べた。

- (a)経済政策調整大臣に、ジャネット・サンチェス(Janneth Sanchez)前社会開発調整大臣を任命。
- (b)社会開発調整大臣に、ドリス・ソリス(Doris Soliz)前政策調整大臣を任命。
- (c)政策調整大臣に、ベティトラ(Betty Tola)前国家移民庁(SENAMI)長官を任命。
- (d)生産雇用競争力調整大臣に、サンティアゴ・レオン(Santiago Leon)前税関公社総裁を任命。
- (e)住宅都市開発大臣に、ペドロ・ハラミージョ(Pedro Jaramillo)氏を任命。
- (f)国家水資源庁(SENAGUA)長官に、ウォルター・ソリス(Walter Solis)前住宅都市開発大臣を任命。
- (g)国家開発計画庁(SENPLADES)長官に、ファンデル・ファルコニ(Fander Falconi)元外務大臣を任命。
- (h)国家高等教育・科学技術庁(SENACYT)長官に、レネ・ラミレス(Rene Ramirez)前国家開発計画庁長官を任命。
- (i)民衆・社会運動・市民参画庁(SPPC)長官に、ミレヤ・カルデナス(Mireya Cardenas)女史を任命。
- (j)エクアドル開発銀行(BEDE)頭取に、マリア・ソレダ・バレラ(Maria Soledad Barrera)女史を任命。
- (k)国家移民庁(SENAMI)長官に、フランシスコ・アゴ(Francisco Hago)国会議員を任命。
- (l)国家諜報庁(SENAIN)長官に、ラウル・パティーニョ(Raul Patino)元社会福祉大臣(ノボア政権期)を任命。
- (m)新国際金融構造構築のための大統領実務者委員会委員長に、ディエゴ・ボルハ(Diego Borja)前エクアドル中央銀行(BCE)総裁を任命。
- (n)エクアドル中央銀行(BCE)総裁に、ペドロ・デルガド(Pedro Delgado)氏を任命した。
- (o)エクアドル税関公社(SENAE)総裁に、ハビエル・カルデナス(Xavier Cardenas)氏を任命。

#### (2)環境保護・国家歳入調整法

10月24日、コリア大統領は新税制(対外送金税・自動車税など)を定める環境保護・国家歳入調整法案を緊急経済案件として国会に提出した。緊急経済案件は国会審議期間を30日とし、期間内に国会が議決しなければ政府案が自動的に成立し発効となる。

11月17日、グティエレス(Gilmar Gutierrez)野党議員(PSP)は環境保護・国家歳入調整法案の廃案決議案を本会議に提出した。国会は賛成53票・反対46票・白2票を以て右決議案を可決した。法案の否決には議員総数の過半数63票が必要となる一方、決議の採択には有効票の過半数で足りるので、野党側は決議案を提出し採択へと持ち込んだ。

しかし同日夜、コリア大統領は、「決議による廃案は正当な国会手続きとは言えず、廃案にすることは出来ない。期限の24日には、法案は自動的に成立し省令(ministerio de la ley)として官報に掲載され発効する」と述べた。同月24日、官報第583号により同法は発効となった。

#### (3)トングラウア火山の活動

27日午後4時50分、火山を震源とする揺れがあり、続いて午後5時01分、05分の2回にわたり小規模の爆発があった。さらに同18分、35分にはより大きな爆発が認められた。28日午前9時00分の報告では、午前7時35分に3箇所で大規模な流動物の落下を観測した。午前9時の段階では、噴火に伴い上空約3kmの高さまで火山灰の上昇を認めている。

### **3. 外 交**

#### **(1)アンデス共同体特別首脳会合**

8日、アンデス共同体(CAN)特別首脳会合がボゴタに於いて実施され、エクアドル、コロンビア、ペルー、ボリビアの各国首脳が出席した。会合後の記者会見で、コレア大統領はアンデス共同体(CAN)の加盟国であり続ける旨確約した上で、同会合を「最も実りあるもの(la mas fructifera)」と評し、サントス・コロンビア大統領と意思を共有する事ができたと述べた。

#### **(2)エクアドル・ペルー外相会合**

25日、両国外相会議にはパティエーニョ・エクアドル外相、ロンカグリオロ・ペルー外相、リバデネイラ駐ペルー大使、レオン駐エクアドル大使、貿易投資次官他が同席し、会合後共同宣言が署名された。

#### **(3)ヤスニITTプロジェクト： 露社団法人の拠出表明**

3日、モスクワ(露)のプレシデント・ホテルにて、ヤスニプロジェクトを支援すべく“生命のためのヤスニ ITT イニシアティブ慈善パーティー”が実施され、多くの政府関係者、政治家、企業家、外交団、アーティストなどが参加した。右イベントでは世界的な環境保全運動団体である社団法人 Terra Viva(露) 及び国際 NGO・Filantropicas がチャベス(Patricio Chavez Zavala) 在露エクアドル大使にヤスニ ITT への支援として総額 10 万ドルの象徴的小切手を渡した。